

# 令和5年度 学校評価について

豊川市立国府小学校  
R5.9.1

## 質問内容(一部略)

A: そう思う

B: どちらかといえばそう思う

C: どちらかといえばそう思わない

D: そう思わない

### 児童

- 1 学校生活は、楽しい。
- 2 休憩時間は、友達と楽しく過ごしている。
- 3 楽しい授業が多い。
- 4 分かりやすい授業が多い。
- 5 授業では、先生がいろいろと工夫して教えてくれている。
- 6 // ペアやグループ、学級の友達に、自分の考えを発言している。
- 7 // 友達の意見や先生の話をよく聞いている。
- 8 家でも進んで宿題や自主学習をしている。
- 9 元気に進んで挨拶をしている。
- 10 時間やきまりを守って行動できている。
- 11 学校がきれいになるように、集中してそうじに取り組んでいる。
- 12 係や当番活動、委員会活動に進んで取り組んでいる。
- 13 いろいろな学校行事に進んで楽しく参加している。
- 14 学校では、相手のことを考えて行動しようとしている。
- 15 先生は、よいことをしたときには、ほめてくれる。
- 16 // よくないことをしたときには、きちんとしかってくれる。
- 17 // 私たちの話やなやみ、困ったことを聞いてくれる。
- 18 自分のなやみを聞いてくれる友達がいる。
- 19 自分や友達がいじめにあったら、担任の先生に伝えることができる。
- 20 地震や火災、台風などが発生した場合、行動について知っている。
- 21 家の人と学校のできごとをよく話している。

R5年7月

3～6年生対象

A	B	C	D	総数	A+B	A+B/総数
283	157	29	16	485	440	91%
329	129	20	7	485	458	94%
265	182	31	7	485	447	92%
202	179	73	31	485	381	79%
281	178	22	4	485	459	95%
196	189	81	19	485	385	79%
296	161	22	6	485	457	94%
143	233	94	15	485	376	78%
201	239	39	6	485	440	91%
260	152	62	11	485	412	85%
263	174	43	5	485	437	90%
283	157	29	16	485	440	91%
329	129	20	7	485	458	94%
265	182	31	7	485	447	92%
202	179	73	31	485	381	79%
281	178	22	4	485	459	95%
196	189	81	19	485	385	79%
296	161	22	6	485	457	94%
143	233	94	15	485	376	78%
260	152	62	11	485	412	85%
281	178	22	4	485	459	95%
196	189	81	19	485	385	79%
296	161	22	6	485	457	94%
143	233	94	15	485	376	78%
260	152	62	11	485	412	85%
281	178	22	4	485	459	95%
196	189	81	19	485	385	79%

R4年12月

3～6年生対象

A	B	C	D	総数	A+B	A+B/総数
283	157	29	16	485	440	91%
201	239	39	6	485	440	91%
202	179	73	31	485	381	79%
265	182	31	7	485	447	92%
329	129	20	7	485	458	94%
196	189	81	19	485	385	79%
281	178	22	4	485	459	95%
296	161	22	6	485	457	94%
260	152	62	11	485	412	85%
201	239	39	6	485	440	91%
143	233	94	15	485	376	78%
296	161	22	6	485	457	94%
263	174	43	5	485	437	90%
283	157	29	16	485	440	91%
329	129	20	7	485	458	94%
265	182	31	7	485	447	92%
202	179	73	31	485	381	79%
281	178	22	4	485	459	95%
196	189	81	19	485	385	79%
296	161	22	6	485	457	94%
143	233	94	15	485	376	78%
260	152	62	11	485	412	85%
281	178	22	4	485	459	95%
196	189	81	19	485	385	79%

### 保護者

- 1 お子さんは、学校生活を楽しんでいる。
- 2 // 授業が楽しいと言っている。
- 3 // 授業が分かりやすいと言っている。
- 4 // 授業に真剣に取り組んでいる。
- 5 // 家でも進んで宿題や自主学習をしている。
- 6 // 元気に進んで挨拶をしている。
- 7 // 学校・学年行事に進んで楽しく参加している。
- 8 // 学校のできごとをよく話してくれる。
- 9 国府小の職員は、子供を認め、よく理解してくれている。
- 10 // 子供のよくない言動をきちんと指導している。
- 11 // 子供に豊かな心が育つように努力している。
- 12 // 子供の能力や努力を適切に評価している。
- 13 // 子供の学習や心身の健康について、気軽に相談できる。
- 14 // 家庭や地域とのかかわりをもった教育活動をしようとしている。
- 15 // いじめの早期発見・早期対応に努めている。
- 16 たより等により、学校の様子を知ることができている。

R5年7月

全保護者対象

A	B	C	D	総数	A+B	A+B/総数
256	169	24	5	454	425	94%
142	240	61	11	454	382	84%
135	261	49	9	454	396	87%
207	204	31	12	454	411	91%
148	180	93	33	454	328	72%
141	195	92	26	454	336	74%
284	146	16	8	454	430	95%
202	189	52	11	454	391	86%
180	234	31	9	454	414	91%
170	247	32	5	454	417	92%
168	253	22	11	454	421	93%
162	254	29	9	454	416	92%
185	209	49	11	454	394	87%
121	268	58	7	454	389	86%
127	266	50	11	454	393	87%
174	217	49	14	454	391	86%

R4年12月

全保護者対象

A	B	C	D	総数	A+B	A+B/総数
274	173	20	4	471	447	95%
173	225	62	11	471	398	85%
172	249	46	4	471	421	89%
239	192	33	7	471	431	92%
154	170	110	37	471	324	69%
159	207	85	20	471	366	78%
319	127	22	3	471	446	95%
215	178	67	11	471	393	83%
217	211	35	8	471	428	91%
205	222	38	6	471	427	91%
186	232	43	10	471	418	89%
193	235	36	7	471	428	91%
151	247	61	12	471	398	85%
196	204	53	18	471	400	85%
118	290	51	12	471	408	87%
179	233	49	10	471	412	87%

# 考 察

## ○ 児童用アンケートより

前回（令和4年12月）、前々回（令和4年7月）と比較して、大きく増加した項目が21項目のうち9項目あった。中でも、「3 楽しい授業が多い」「11 学校がきれいになるように、集中してそうじに取り組んでいる」「18 自分のなやみを聞いてくれる友達がいる」の3項目については、10%以上増加した。多くの児童が、学校生活に対して肯定的に捉えていることの表れである。特に、これまで課題としてきた「挨拶」と「掃除」で増加した点はよかった。今後は、更に向上できるよう取組を継続していきたい。

今回のアンケートで大きく減少したのが、「4 分かりやすい授業が多い」（13.6%減少）、「8 家でも進んで宿題や自主学習をしている」（16.7%）と、学習に関する項目が2つあった。どちらの項目もこれまで90%を超えていたが、今回は80%を下回る結果となった。どこに要因があるか早急に分析し、対策を講じていく必要がある。また、「15 先生はよいことをしたときには、ほめてくれる」についても、15.8%と大きく減少した。大いに反省すべき点である。全職員で子供たちのよさをしっかりと見つめ、認める声かけを増やしていきたい。

## ○ 保護者アンケートより

保護者については、前回と比較して大きな差は見られなかった。また、16項目のうち8項目で90%を超えている。「11 職員は子供に豊かな心が育つように努力している」については4%増加しており、学校の取組に対して肯定的に捉えていただいている。

お子さんの様子に関する設問では、ほぼ前回と同じ結果となった。その中で、「5 家でも進んで宿題や自主学習をしている」（3.4%増加）、「6 元気よく進んで挨拶している」（3.7%減少）と、子供たちの回答と正反対の結果となっている。評価の基準の難しさが表れた結果となった。

以前から課題となっていた「たより等により、学校の様子を知ることができる」については、今回もわずかに減少した。今後は、学年通信や学校だより等を通じて、学校での子供たちの様子が伝わるよう紙面等を工夫していきたい。なお、学級通信については、今後も特段の事情がない限り発行しないことを基本としていく。

## ○ その他

今回のアンケートから、職員の設問についても変更した。これまでは、子供たちの様子から評価をしていたが、できていないところに目が行きがちで厳しい結果となるが多かった。今回からは、自身の指導を振り返る設問とした。今後の課題としては、教師（学校）の評価と、子供たちや保護者の評価に差が見られる項目についてである。どちらも低い結果となった場合も課題となるが、教師（学校）側は「指導している（できている）」と判断しているが、子供や保護者が「否定的に捉えている」場合は大きな課題となる。今回もいくつかの設問で、そうした結果が見られた。今後も、それぞれの評価の変化だけでなく、子供と・保護者・教師の3者の関係にも注目して検証し、課題となった項目について改善を図っていきたい。